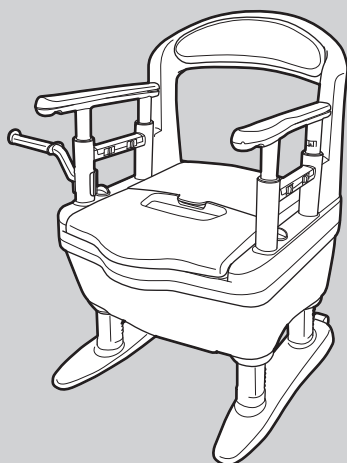


あんじゅ
安寿

ポータブルトイレ ジャスピタ

共通取扱説明書



標準便座

ソフト便座

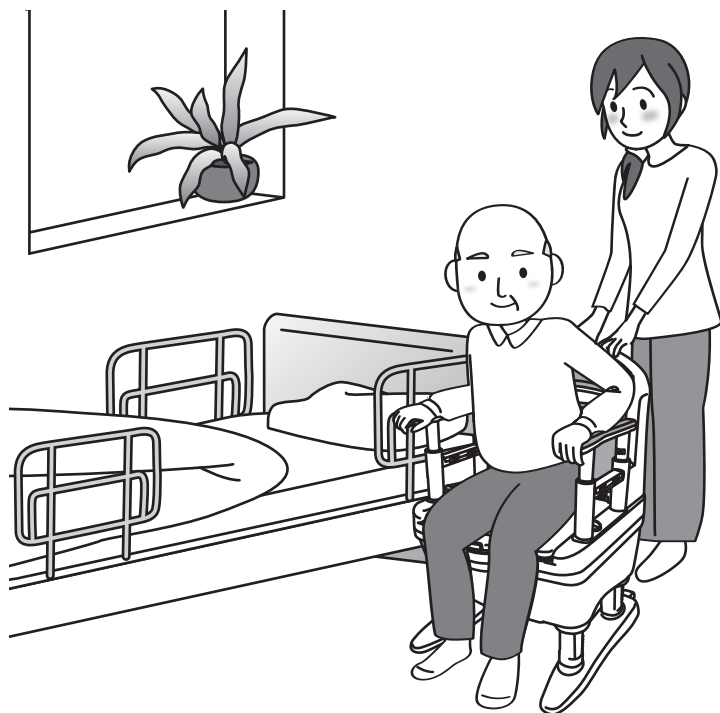
ジャスピタ

最大使用者体重：100kg

ご使用前にこの取扱説明書と保証書をお読みください。

このたびは本製品をお求めいただきまして、まことにありがとうございます。

- ・正しくお使いいただくため、ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
- ・取扱説明書を読んだあとは必ず保管してください。



保存版
(保証書付)

ARONKASEI CO.,LTD.

もくじ

確認しましょう



確認しましょう P.2 ~ 4

- ・購入品と梱包品の確認 2
- ・各部の名称 3
- ・商品の寸法図と仕様 4

安全上のご注意



安全上のご注意 P.5 ~ 7

ご使用の前に



ご使用の前に P.8 ~ 13

- ・組み立てましょう 8
- ・各部の調節をしましょう 9
- ・ペーパーホルダーを取り付けましょう 13
- ・便座シートを取り付けましょう 13

使いましょう



使いましょう P.14 ~ 17

- ・ご使用になる前に 14
- ・使いかた 14 ~ 17
 - 使用前の準備のしかた 14
 - 汚物処理のしかた 15
 - 座りかた 16
 - 移動のしかた 16
 - こんな使いかたができます 17

お手入れしましょう



お手入れしましょう P.18 ~ 20

- ・お掃除のしかた 18 ~ 19
- ・点検のしかた 20
- ・交換部品 20

困ったときには



困ったときには P.21 ~ 23

- ・よくあるご質問 21
- ・保証とアフターサービス 22 ~ 23

👉 確認しましょう

購入品と梱包品の確認

梱包品が揃っているか、下のイラストを見ながら確認しましょう。

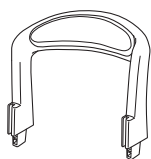


ご購入いただきました製品によって、梱包品、および確認していただくページが異なります。組み立てる前に、購入した製品にレ点を付け、ご確認をお願いいたします。

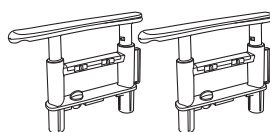
全タイプ共通



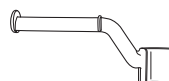
●本体1台



●背もたれ1個



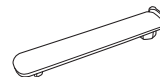
●ひじ掛け(左・右)各1本



●ペーパーホルダー1個



●背もたれ固定ピン2個



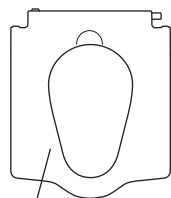
●ひじ掛け穴カバー1個

●防臭消耗品

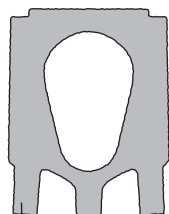
便座の種類



標準便座



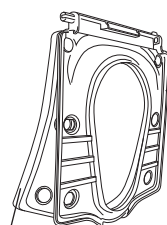
便座



吸着便座シート



ソフト便座



ソフト便座

便座
ベース板

👉 確認しましょう

! 安全上のご注意

✖ ご使用の前に

👉 使いましょう

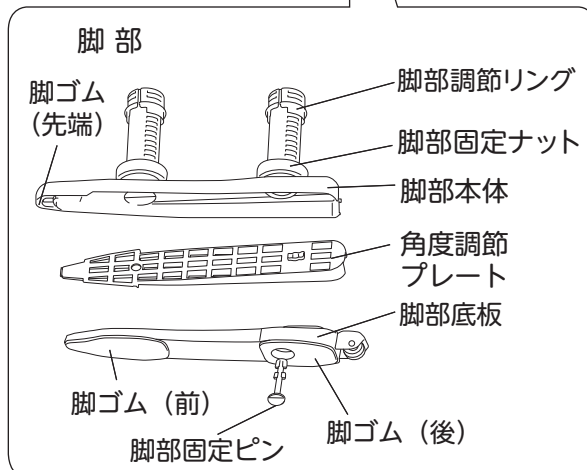
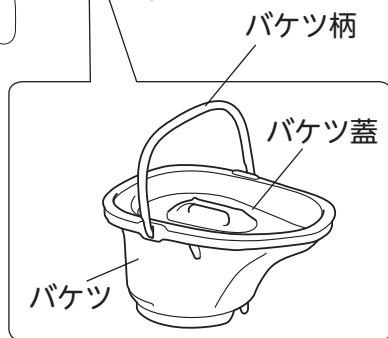
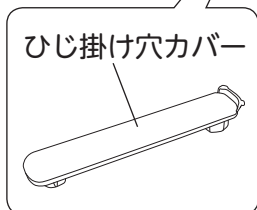
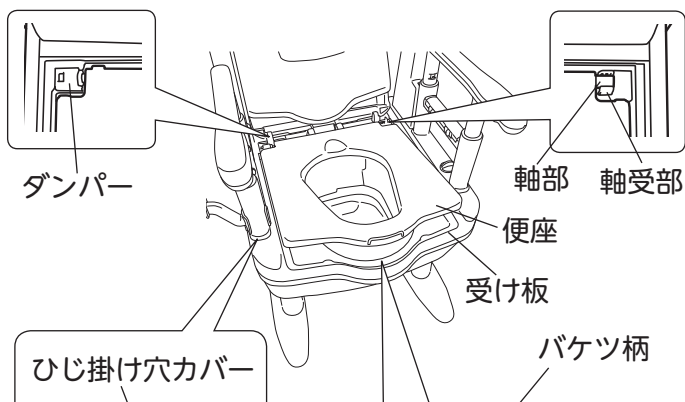
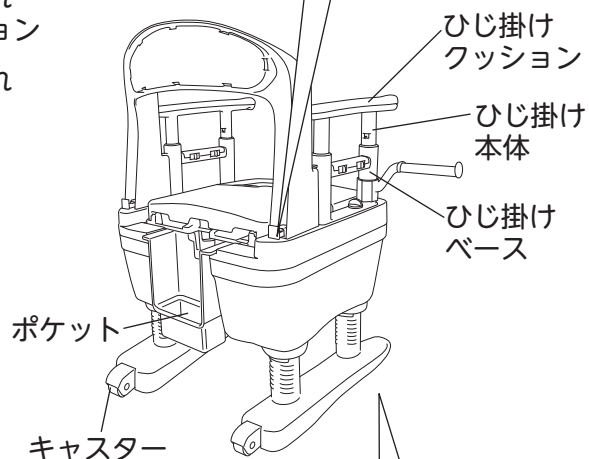
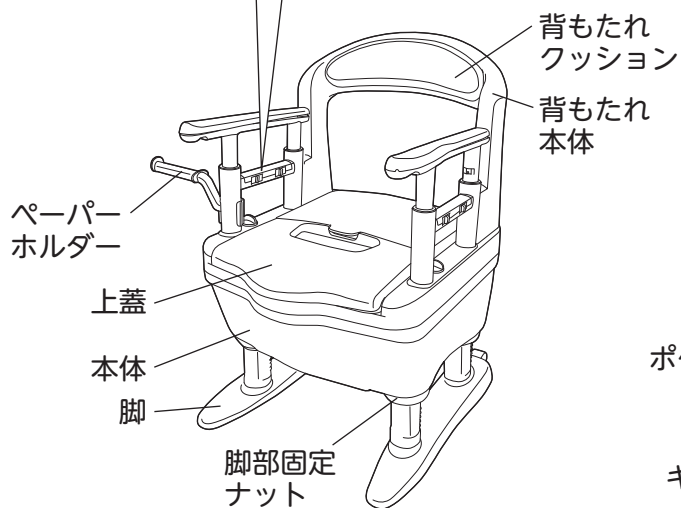
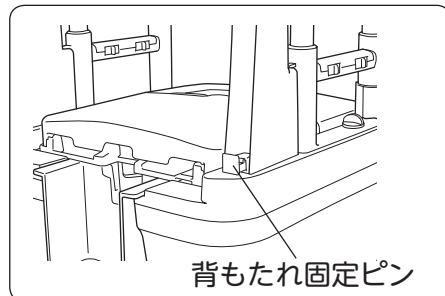
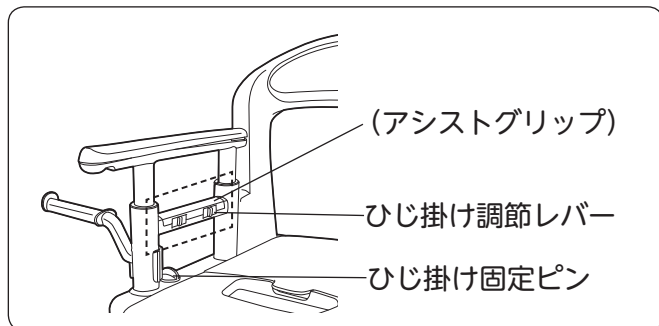
💧 お手入れしましょう

? 困ったときには

👉 確認しましょう

各部の名称

■全タイプ共通



確認しましょう

！安全上の注意

✖ご使用の前に

♡使いましょう

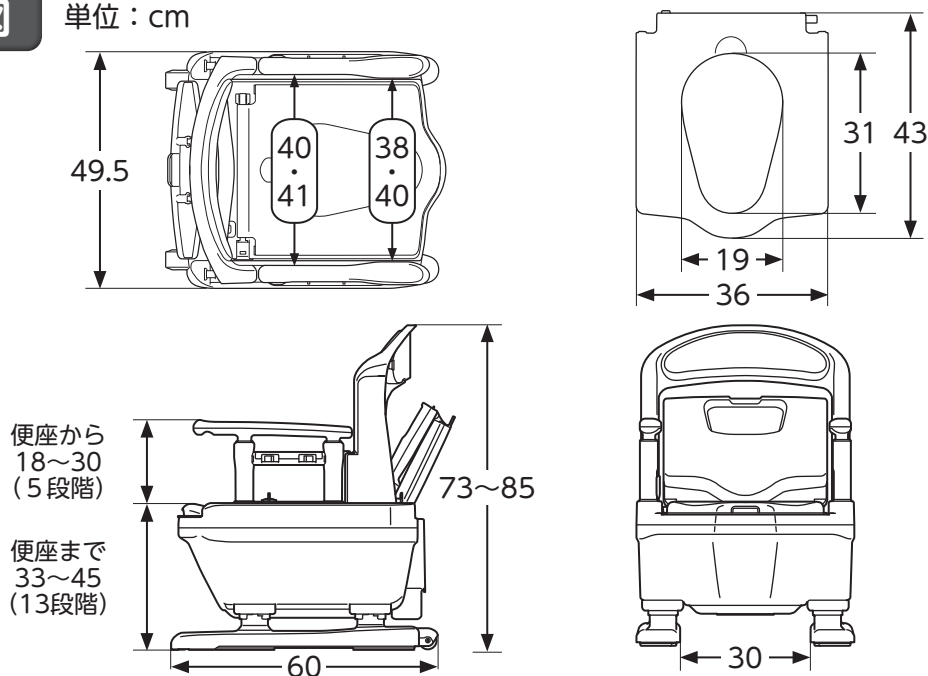
💧お手入れしましょう

？困ったときには

商品の寸法図と仕様

商品寸法図

単位：cm



仕様

品 名		ポータブルトイレ ジャスピタ	
構 成 部 品	全タイプ共通	部 品 名	材 質
		本体、上蓋、バケツ、バケツ蓋、背もたれ本体、ペーパーホルダー、ひじ掛け穴カバー	ポリプロピレン
		ひじ掛け本体、角度調節プレート、脚部本体、脚部底板	ABS 樹脂
		背もたれクッション、ひじ掛けクッション	ポリエチレン
		脚ゴム（先端・前・後）	エラストマー
		ひじ掛けベース	ABS 樹脂 / ポリプロピレン （内部 ステンレス製バネ）
	標準便座タイプ	便座	ポリプロピレン（抗菌加工）
	ソフト便座タイプ	便座	EVA 樹脂（抗菌加工）
		便座ベース板	ポリプロピレン
バケツ容量		約 9ℓ	
サイズ		幅 49.5 × 奥行 60 × 高さ 73 ～ 85cm（便座までの高さ 33 ～ 45cm [1cm ピッチ]）	
重 量	標準便座タイプ	10.9kg	
	ソフト便座タイプ	11.0kg	



SIAAマークは ISO 22196法により評価された結果に基づき、抗菌製品技術協議会ガイドラインで品質管理・情報公開された製品に表示されています。

※ソフト便座は抗菌加工済みです。

廃棄上のご注意

お住まいの地域の分別ルールに従って廃棄してください。

確認しましょう

！安全上のご注意

✖ご使用の前に

♡使いましょう

💧お手入れしましょう

？困ったときには

！ 安全上のご注意

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他人への危害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容です。**思わぬ事故（転倒、けが、破損など）の原因となりますので、必ずお守りください。**



警告

誤った使いかたをすると「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を説明しています。

！ 必ず行うこと ！

ご使用の前に以下の部品がゆるんだり、外れたりしていないか、各部にガタつきなど、異常がないか点検すること

- ・脚部固定ナット → ゆるむ ×
- ・ひじ掛け固定ピン } → 外れる ×
- ・背もたれ固定ピン }



詳しくは…P.20へ

ひじ掛けの高さを調整した後、しっかり固定されているか確認すること



本体に体を十分に近づけてから座ること



車いすから移乗する場合は、車いすのブレーキをかけてから移乗すること

ブレーキをかけていないと、車いすが動きだし、転倒やけがの原因になります。



⊘ 絶対にしないこと ⊘



絶対に分解・修理・改造をしないこと

分解禁止

故障したままで使いつづけないこと

故障とは…

- ・異音、異臭がしている
- ・製品が異常に熱い
- ・製品にひびや割れが入っている
- ・製品から煙がでている …など

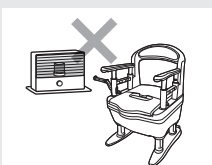
すぐに使用を中止し、販売店に連絡してください。

体重が100kgを超える方は使用しないこと

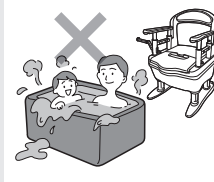


不安定な場所や、近くに火気や水気がある場所には設置しないこと

- ・浴室など湿気の多い場所
- ・ストーブ等火気が近くにある場所
- ・直射日光の当たる場所
- ・床が平坦ではなく不安定な場所



火災・変形・変色などが起こり、場合によっては転倒やけがの原因になります。



確認しましょう

！ 安全上のご注意

✕ 準備しましょう

🚫 使いましょう

💧 お手入れしましょう

？ 困ったときには



警告

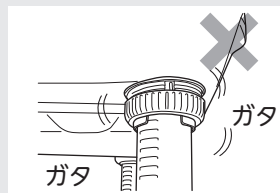
誤った使いかたをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。

絶対にしないこと

介助者がいない場合、自分自身の身体を十分に安定させられないときは使用しないこと



脚部固定ナットがゆるんだ状態で使用しないこと



正常でない状態では使用しないこと

- 両方のひじ掛けや背もたれを取り外している状態
- 脚ゴムをはめていない状態
- 脚を前後、左右入れ替えた状態
- 脚の高さが左右で異なる状態
- 角度調節プレートを外した状態 …など



子どもを遊ばせる等、他の用途では使用しないこと



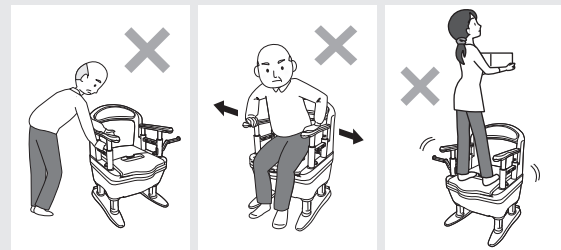
物をのせたまま移動させないこと

- 人や物を座らせたまま移動させる
- バケツ内に水や汚物を入れたまま移動させる …など



製品に過度な力を加えないこと

- ひじ掛けや背もたれを移動時の手すり代わりにする
- 立ち座り時にひじ掛けに全体重がかかるような過度な横方向の力を加える
- 便座・上蓋の上に立つ
- 製品を落とす
- 上蓋やひじ掛けの上に腰かける …など



立ち座り時にペーパーホルダーを手すり代わりにしないこと



商品梱包用のポリ袋は幼児の手が届くところに置かないこと

幼児がかぶると窒息するおそれがあります。

確認しましょう

！安全上の「注意」

✕準備しましょう

♡使いましょう

💧お手入れしましょう

？困ったときには

！ 安全上のご注意

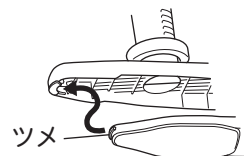


注意

誤った使いかたをすると「傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

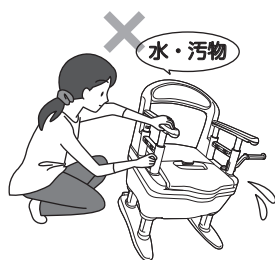
！ 必ず行うこと ！

脚部底板のツメを脚部本体の先端にしっかり差し込んで固定すること



⊘ 絶対にしないこと ⊘

バケツに水や汚物が入っている状態で、本体を移動させたり、便座の高さを調節しないこと
バケツの水や汚物がこぼれ、床などを汚す原因になります。



無理な段差や凹凸面では、キャスター移動をおこなわないこと



バケツ蓋をバケツや便座に取り付けた状態で座らないこと



●お手入れ・保管時の注意 以下の行為を行うと、製品の変色や劣化がすすむ原因になります。

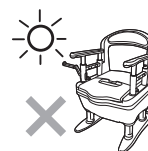
次にあげるものではお手入れしないこと

- ・シンナー ・クレゾール ・酸、アルカリ性洗剤
- ・塩素系薬剤（洗剤）や熱湯（煮沸消毒など）による殺菌、消毒
- ・磨き粉、タワシ、研磨剤入りスポンジ、
その他製品を傷つけるもの

※ひじ掛け、脚は上記のほかに、住宅用洗剤・アルコールも使用しないでください。



屋外に放置したり、直射日光に当たったりしないこと



製品の上に重量物をのせた状態で保管しないこと



確認しましょう

！ 安全上のご注意

✕ 準備しましょう

♡ 使いましょう

💧 お手入れしましょう

？ 困ったときには

✖ ご使用の前に

組み立てましょう

組み立てかた

1. 背もたれを本体に固定します

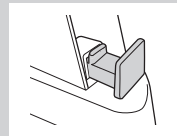
- ①背もたれクッションのある方を前面にして本体の取付穴にはめ込みます。
- ②背もたれの両支柱の後側から背もたれ固定ピンで、左右2ヶ所しっかり固定します。

※背もたれを取り外す場合は、逆の手順でおこなってください。

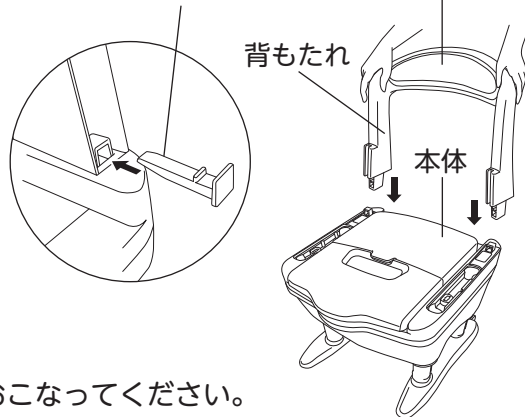
警告



背もたれ固定ピンで背もたれを必ず固定すること
転倒やけが、破損の原因になります。



背もたれ固定ピン 背もたれクッション

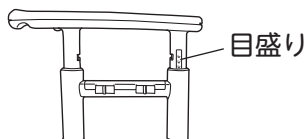


2. ひじ掛けを本体に固定します

- ①ひじ掛けを固定する前に内寸を決めましょう。
体格や症状によって、ひじ掛け内寸（先端）38cm と 40cm の2種類から選べます。

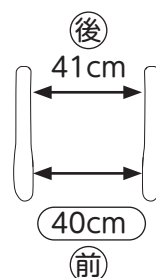
38cmに設定する場合

ひじ掛けの高さ目盛りがある方を外側にして固定します。

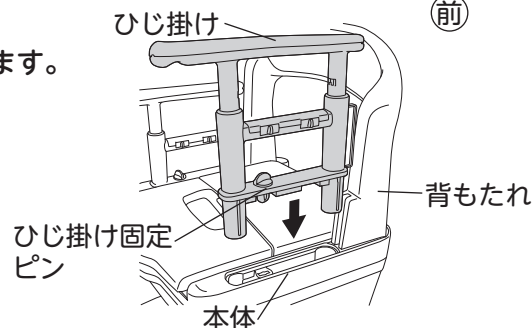


40cmに設定する場合

ひじ掛けの高さ目盛りがある方を内側にして固定します。



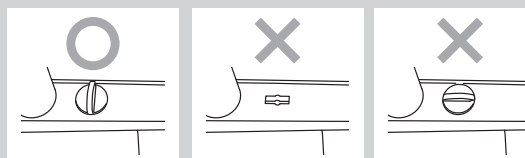
- ②ひじ掛けを図のように本体と背もたれにはめ込みます。
- ③ひじ掛け固定ピンを 90° 回転させて固定します。



警告



ひじ掛けはひじ掛け固定ピンで必ず固定すること
転倒やけが、破損の原因になります。



確認しましょう

！安全上のご注意

✖ ご使用の前に

使いまししょう

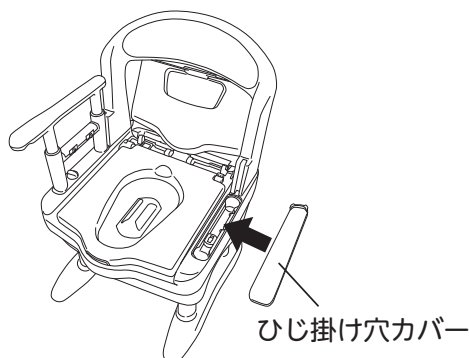
お手入れしまししょう

？困ったときには

✖ ご使用の前に

移乗のためにひじ掛けを片側外して使用する場合は、ひじ掛け穴カバーを取り付けてください。

使い方は…P. 17へ

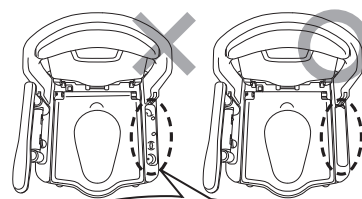


注意



片側のひじ掛けを外して使用する場合は、ひじ掛けを差し込んでいた部分の穴が見えている状態で使用しないこと

本体のひじ掛け差込部にひじ掛け穴カバーを取り付けてください。



穴が見えている

各部の調節をしましょう

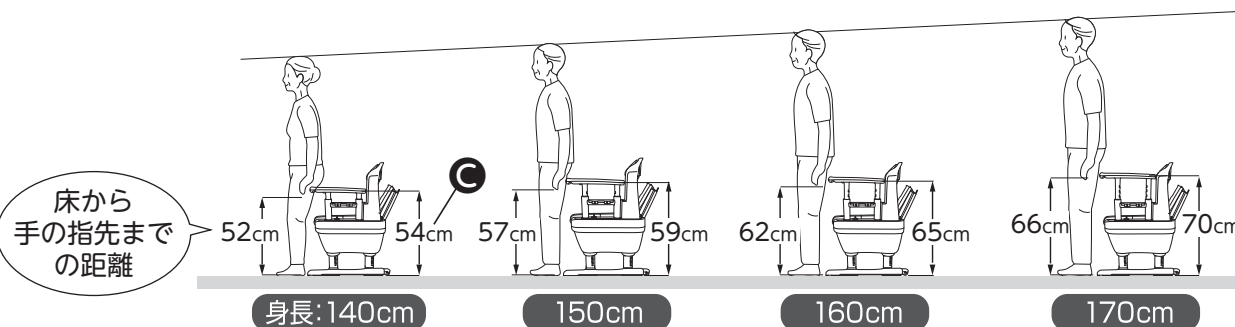
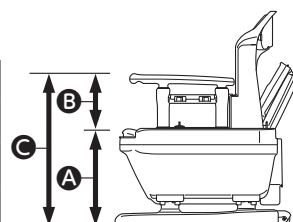
設定の目安

- ご使用される方の体格や症状に合わせて、便座の高さやひじ掛けの高さを調節してください。便座、ひじ掛けは工具を使わずに高さ調節できます。
- 排泄や移乗をおこないやすいよう、利用する方の体格に合った設定をしてください。また、調節はお買い上げの販売店、ケアマネジャーなど専門家に相談することをおすすめします。



ひじ掛けをつかんで座る場合の設定目安

身長	140cm	150cm	160cm	170cm
Ⓐ便座の高さ	33cm	35cm	38cm	40cm
Ⓑひじ掛けの高さ	21cm	24cm	27cm	30cm
Ⓒ床からひじ掛け先端までの高さ	54cm	59cm	65cm	70cm



※上図の体格の数値はあくまで平均値であり個人差があります。最終的には本人の身体寸法を基準にしてください。

ひじ掛け高さ調節のしかた

設定したいひじ掛けの高さを決めます

ひじ掛けの高さは、5段階（18・21・24・27・30cm）に調節できます。

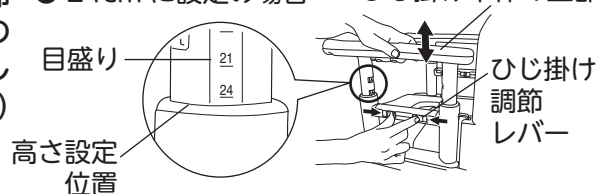
（P.9「設定の目安」の③参照）

調節の方法は以下の手順にしたがっておこなってください。

1. ひじ掛けの高さを合わせます

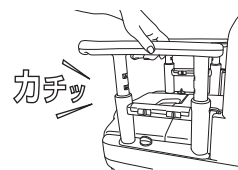
アシストグリップの側面にあるひじ掛け調節レバーを図のようにつまみ、ひじ掛け本体の上部を持って、上下に動かしながら、設定したい高さ（ひじ掛け本体の目盛りに合わせて）に合わせます。

● 24cm に設定の場合



2. ひじ掛けを固定します

ひじ掛け調節レバーから手を離して元の位置に戻し、ひじ掛け本体を少し上下に動かすと、カチッという音がして、ひじ掛けが固定されます。



3. 固定状況を確認します（完了）

最後にひじ掛けを軽くゆすり、ひじ掛けが本体にしっかりと固定されていることを確認して完了です。



警告



- ひじ掛けは 18 ～ 30cm の範囲で調節できます。
それ以外の範囲では使用しないこと

転倒やけが、破損の原因になります。

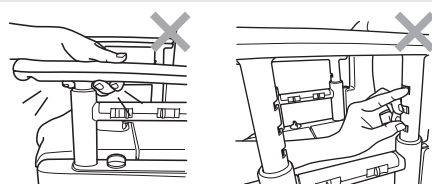
- ひじ掛けの高さを調節した後、しっかりと固定されているか確認すること
転倒やけが、破損の原因になります。

注意



ひじ掛けの高さ調節時に、ひじ掛けの先端やひじ掛けの穴部を握らないこと

手指がひじ掛けの先端部とアシストグリップのすき間やひじ掛けの穴部にはさみ込まれ、けがの原因になります。



確認しましょう

！安全上のご注意

✕ご使用の前に

♡使いましょう

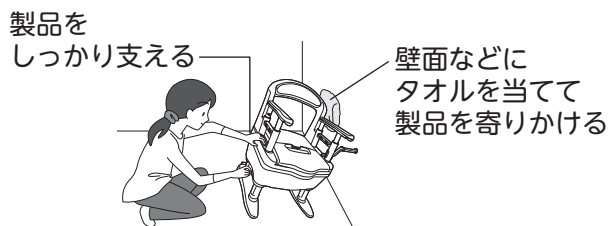
💧お手入れしましょう

？困ったときには

✖ ご使用の前に

便座高さ調節のしかた

- 便座の高さは、33～45cmの間で調節することができます。調節の方法は以下の手順にしたがっておこなってください。
- 高さ調節する際は、本体を寄りかけられる場所（壁など）に、タオルを当てた状態でそっと寄りかけるか、ほかの人に支えてもらうなど、しっかり支えた状態で作業をおこなってください。
※高さ調節は左右片方ずつおこなってください。



注意

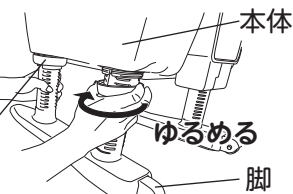


便座高さの調節は、必ず本体を支えた状態でおこなうこと
本体が転倒して破損する原因になります。

1. 脚部固定ナットをゆるめ、本体から脚を取り外します

脚部固定ナットは前後ともゆるめてください。

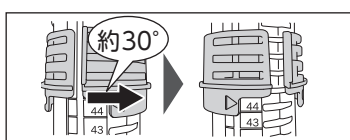
脚部固定ナット



2. 脚部調節リングを回して、図のように高さを合わせます

※図は左脚です。

①脚部調節リングのふちに指をかけ、右に回してください。



脚部調節リングが止まる位置までゆっくり回す（約30°）

②脚部調節リングを設定したい高さに合わせます。



三角形

ずらす

③脚部調節リングを左へ回し、固定します。



縦線

リングの割れ目

④前後とも同じ高さに合わせます。

⑤脚を本体にはめ込みます。

⑥もう一方の脚も同じ高さに合わせます。

便座の角度調節をおこなう場合は…先にP.12へ

警告



- 脚部を前後左右入れ替えた状態で使用しないこと
- 脚の高さが左右異なる状態で使用しないこと

キャスター



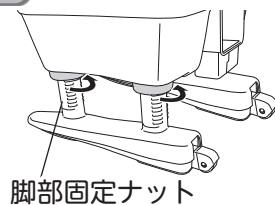
3. 最後に、脚部固定ナットをしめて、固定します

しっかり固定されていることを確認してください。

警告



脚部固定ナットがゆるんだ状態で使用しないこと
本体から脚が外れ、転倒やけがの原因になります。

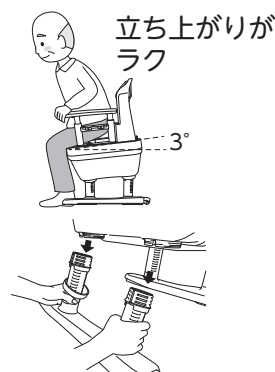


便座角度調節のしかた

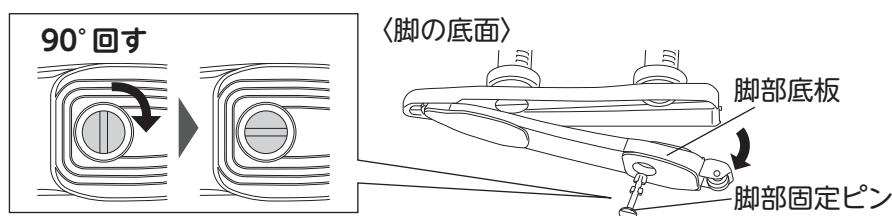
●脚の角度調節プレートに裏にして付け替えることで、便座が約3°前下がりになり、排泄しやすい前傾姿勢をとりやすくなります。また、尿が少し下方向に出るため、前方への尿こぼれをさらに減らすことができます。

●角度調節は脚を取り外した状態でおこなうと楽にできます。

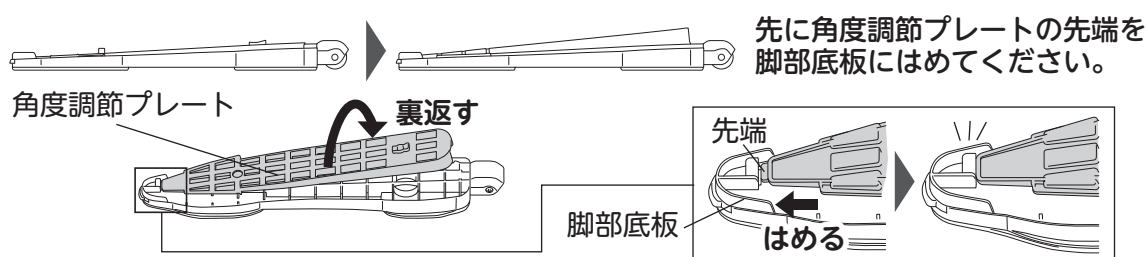
※角度調節は左右片方ずつおこなってください。



1. 脚部固定ピンを 90° 回して抜き、脚部底板を外します

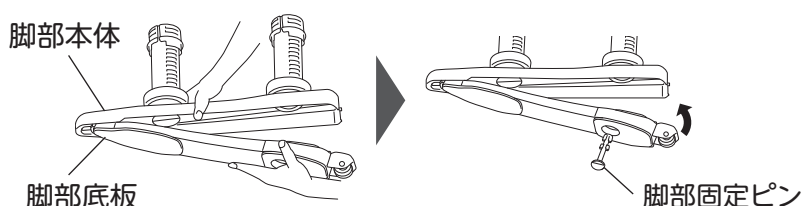


2. 脚部底板の中にある角度調節プレートを裏返してはめ直します



3. 脚部底板に脚部本体をはめて、脚部固定ピンをしめて固定します

脚部底板のツメを脚部本体にしっかり差し込み、脚部固定ピンをしめて固定します。



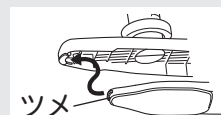
警告



●脚部底板のツメを脚部本体の先端にしっかり差し込んで固定すること

転倒やけが、破損の原因になります。

●角度調節プレートを外した状態で使用しないこと



確認しましょう

！安全上のご注意

＊ご使用の前に

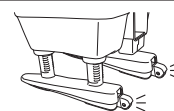
使いまししょう

お手入れしまししょう

？困ったときには



左右の脚の角度が同じになっているか、確認しましょう

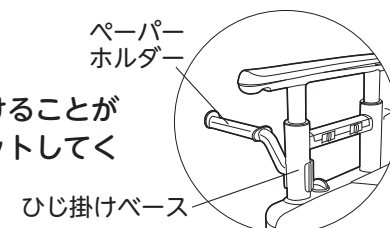


✖ ご使用の前に

ペーパーホルダーを取り付けましょう

ペーパーホルダーはひじ掛けベースの支柱にお好みの角度で取り付けることができます。使いやすい位置に取り付けて、トイレットペーパーをセットしてください。

図のように取り付けてください。



便座シートを取り付けましょう

※標準便座タイプのみ取り付けられます。

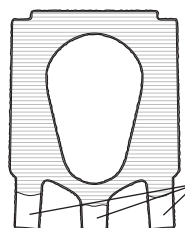
1. 便座のホコリなどを拭きとります

便座のホコリや水気、汚れなどをよく拭きとります。

※便座に除菌クリーナーを使用された場合は、一旦水拭きし、乾かしてからご使用ください。
(吸着力が弱くなります)

2. 保護フィルムを剥がします

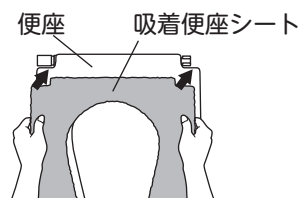
吸着便座シート裏面の保護フィルムを剥がします。



保護フィルムが残る場合があります。完全に剥がしてください。

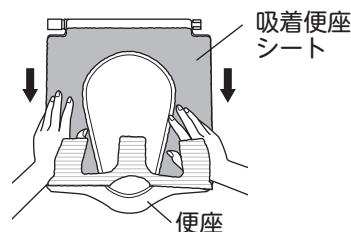
3. 便座に吸着便座シートを合わせます

便座後側の角部に吸着便座シートの角部を図のように合わせます。



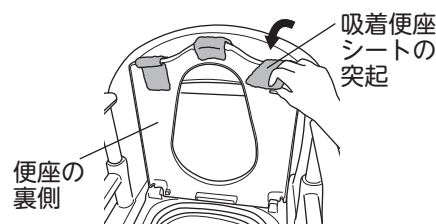
4. 吸着便座シートを便座に貼り付けます

便座上面に沿わせるようにして吸着便座シートを便座に貼り付けます。



5. 吸着便座シートを便座の裏面に巻き込み、貼り付けます

- ①便座を上げます。
- ②吸着便座シートの突起を図のように便座の裏側に巻き込み、突起を便座の裏側に貼り付けます。



便座を本体から外して、吸着便座シートを取り付けることもできます。

便座の取り外し方は…P. 19へ



❤️ 使いましょう

ご使用になる前に

ご使用の前にひじ掛けや背もたれを軽くゆすり、各部にガタつきなどの異常がないか点検すること

ガタつきを感じたときは **詳しくは…P.20「点検のしかた」へ** を参照し対処してください。



🔍 確認しましょう

! 安全上のご注意

✖ ご使用の前に

❤️ 使いましょう

💧 お手入れしましょう

? 困ったときには

警告



車いすから移乗する場合は、車いすのブレーキをかけてから移乗すること

ブレーキをかけていないと、車いすが動きだし、転倒やけがの原因になります。



子どもを遊ばせる等、他の用途では使用しないこと



体重が100kgを超える方は使用しないこと

本体が破損し、転倒やけがの原因になります。



ペーパーホルダーを手すり代わりにしないこと

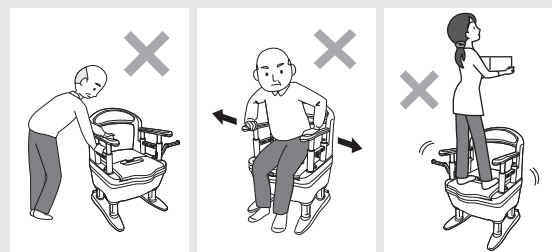
転倒やけが、破損の原因になります。



製品に過度な力を加えないこと

- ひじ掛けや背もたれを移動時の手すり代わりにする
- 立ち座り時にひじ掛けに全体重がかかるような過度な横方向の力を加える
- 便座・上蓋の上に立つ
- 製品を落とす
- 上蓋やひじ掛けの上に腰かける …など

転倒やけが、破損の原因になります。



介助者がいない場合、自分自身の身体を十分に安定させられないときは使用しないこと

転倒やけが、破損の原因になります。

ふらつきがある方など



注意



ペーパーホルダーにはトイレットペーパー以外のものを掛けないこと
ペーパーホルダーが外れる原因になります。

使いかた

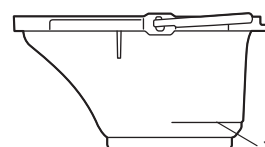
使用前の準備のしかた

1. バケツに水を入れます

バケツの内側の線（1ℓ）まで水を入れてください。

※バケツに水が入っていない場合は、防臭効果が減少します。

※バケツの水が1ℓより少ない場合、バケツを持ち運ぶ際にバケツが不安定になることがあります。



線(1ℓ)

2. バケツを設置します

バケツを本体にセットし、バケツの蓋を外してご使用ください。

※バケツ内へは、ティッシュペーパーなどトイレトペーパー以外のものは入れないこと。
トイレで処理する際、詰まる原因になります。



- ・本製品には防臭消耗品が入っております。ご活用いただき、快適にお使いください。詳しくは [安寿 防臭消耗品](#) [検索](#) クリック
- ・便の量が多いときなどは、便が水に隠れる程度に水量を増やしてください。
- ・弊社の防臭消耗品は便の量に対して使用量を決めています。
十分に防臭効果を得るためには、水の量に関わらず一回のご使用で、各防臭消耗品の指定する分量を入れてください。

汚物処理のしかた

バケツ柄を真上に持ち上げたときに、バケツ柄が動かないようロック状態となり、安心して持ち運べます。

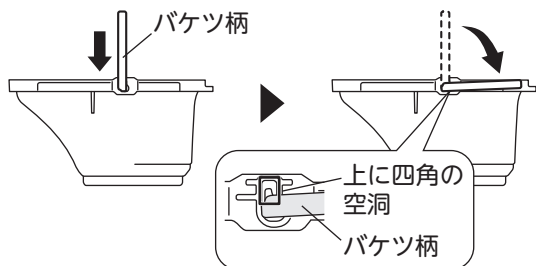


ロック状態になると安定感が増し、安心して持ち運びができます。

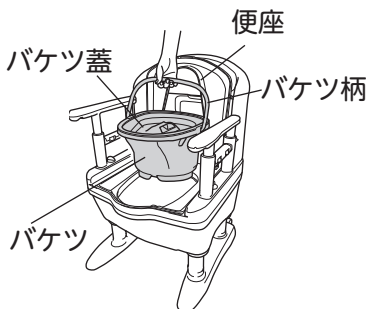
ロック解除状態

バケツ柄のロックを解除した状態でポータブルトイレに収納してください。

- ①バケツ柄を下に押し
- ②そのままバケツ柄を後ろに倒してください。



便座を上げ、バケツ蓋をして、バケツ柄をしっかりと持ってゆっくりとバケツを取り出します。

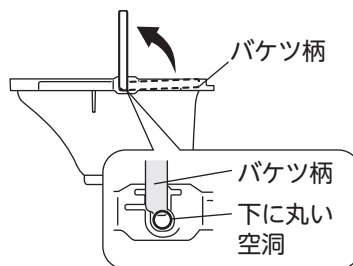


処理後は、逆の手順でバケツを設置し「使用前の準備のしかた」に戻り、使用前の準備をしてください。

ロック状態

バケツ柄をロックした状態で、持ち運びや汚物処理をしてください。

- ①バケツ柄を真上に持ち上げるとロック状態になります。



汚物をトイレに流し、バケツを洗浄します。

※右図のように、バケツの柄を持ち、もう片方の手でバケツ後方を支えると安定してトイレに流せます。



※弊社防臭消耗品は、汚物と一緒にトイレへ流すことができます。
浄化槽に流しても問題ありません。

※受け板に尿がこぼれた場合は…

詳しくは…P.14へ

詳しくは…P. 18「お手入れしましょう」へ

注意



バケツに水、汚物、汚物処理袋、トイレットペーパー、紙以外の物を入れて持ち運ばないこと

バケツ柄に負荷がかかり、変形・破損するおそれがあります。

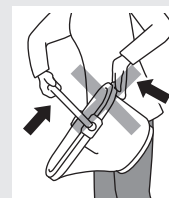


注意



ロック状態のバケツ柄に必要以上に力を加えないこと

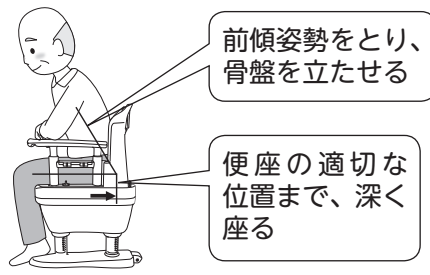
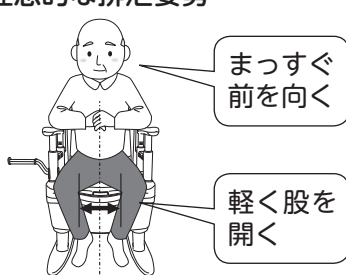
バケツ本体とバケツ柄の回転部に必要以上の力を加えると変形・破損するおそれがあります。



座りかた

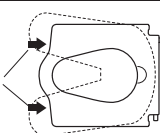
便座へ十分に近づき、ゆっくり座ってください。

●理想的な排泄姿勢



左右がくぼんだ形状なので、しっかり深く座っていただけます。

くぼみ



ひじ掛けを高く設定した場合

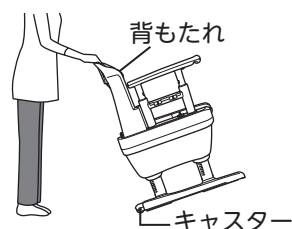
移乗時や着座中にアシストグリップを持つと、姿勢が安定します。

アシストグリップ



移動のしかた

背もたれを持ち、本体を斜めに傾け、キャスターを床につけて、ゆっくり移動させてください。



警告



物をのせたまま移動させないこと

- ・人や物を座らせたまま移動させる
 - ・バケツに水や汚物を入れたまま移動させる
- けが、破損、服や床を汚す原因になります。



注意



本体を移動させるときは、ペーパーホルダーを持たないこと

けが、破損の原因になります。

❤️ 使いましょう

こんな使いかたができます

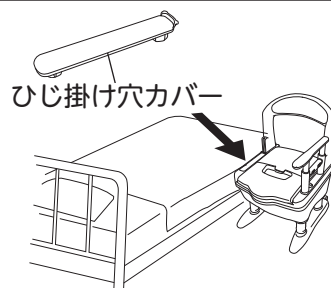
ひじ掛けを片側外して使用できます



座ったまま移乗したい方におすすめです

- ベッドに横付けして座った状態で移乗する場合は、ベッド側のひじ掛けを取り外してお使いいただくことができます。

※ひじ掛けはどちらか片方は必ず取り付けてください。
※ひじ掛けを差し込んでいた部分はひじ掛け穴カバーを取り付けてください。

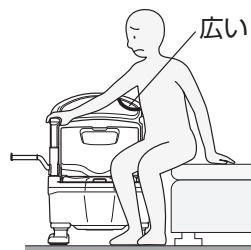


- また、移乗時にアシストグリップを使うと、腕に力が入りやすく、スムーズに移乗しやすくなります。



ひじ掛けの上をつかむと

ひじ掛けの上をつかむと、ワキが開いて力が入りにくい。



アシストグリップをつかむと

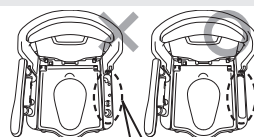
ワキが閉まり、力が入りやすく、重心移動がスムーズになります。



注意



片側のひじ掛けを外して使用する場合は、ひじ掛けを差し込んでいた部分の穴が見えている状態で使用しないこと
本体のひじ掛け差込部にひじ掛け穴カバーを取り付けてください。



穴が見えている

上蓋を外して使用できます



円背の方や後方からケアしたい場合におすすめです

- 着座時に上蓋が背中に当たったり、後方からお尻をケアする場合など、上蓋が不要なときは、取り外すことができます。

外しかたは…P.18「1. 上蓋を取り外しましょう」へ



上蓋を外す



バケツ蓋を便座の上にのせてフタをすることができます

- 上蓋を外した場合や、上蓋の開閉動作が難しい場合は、バケツ蓋を便座の上にのせてフタをすることができます。



上蓋の開閉が難しい場合におすすめです

※バケツ蓋が汚れている場合は、洗ってからご使用ください。



バケツ蓋

💧 お手入れしましょう

注意



次にあげるものではお手入れしないこと

- ・シンナー ・フレッゾール ・酸、アルカリ性洗剤
- ・塩素系薬剤（洗剤）や熱湯（煮沸消毒など）による殺菌、消毒
- ・磨き粉、タワシ、研磨剤入りスポンジ、
その他製品を傷つけるもの



※ひじ掛け、脚は上記のほかに、住宅用洗剤・アルコールも使用しないでください。
製品が劣化し、けがの原因になります。

お掃除のしかた

ポータブルトイレ本体のお手入れ方法

- いつまでも気持ちよくお使いいただくために、こまめに汚れを落としてください。
- 汚れはスポンジかやわらかい布に、住宅用洗剤（弱アルカリ性・中性）をふくませてふきとってください。
ただし、ひじ掛けと脚は水拭きのみとしてください。



上蓋・便座・受け板・バケツのお手入れ方法

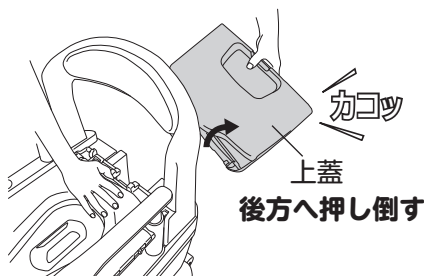
上蓋、便座、受け板、バケツ、バケツ蓋は取り外して水洗いすることができます。

以下の手順で取り外してください。

※バケツ蓋を便座の上に置くときは、洗ってからご使用いただくことをおすすめします。

1. 上蓋を取り外します

上蓋を二つ折りにして、図のように便座を押さえながら、後方に押し倒します。



🔍 確認しましょう

⚠️ 安全上のご注意

✖️ ご使用の前に

💧 使いましょう

💧 お手入れしましょう

❓ 困ったときには

お手入れしましょう

2. 便座を取り外します

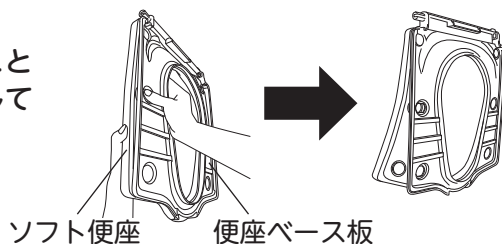
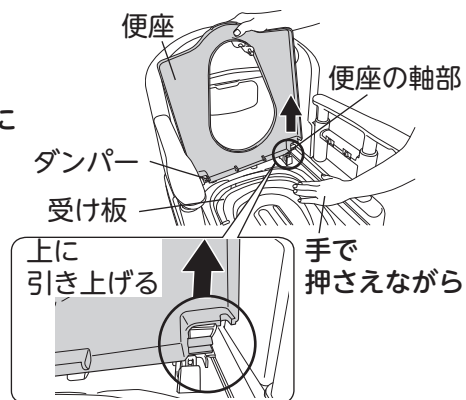
便座を上げて、受け板を手で押さえながら、図のように便座の右側を上引き上げ、軸部を外します。



ダンパーが外れた場合は、P.21「よくあるご質問」をご参照の上、取り付けてください。

※ソフト便座の場合

ソフト便座は便座ベース板から取り外すことができます。裏面の凸部を押して取り外してください。



注意

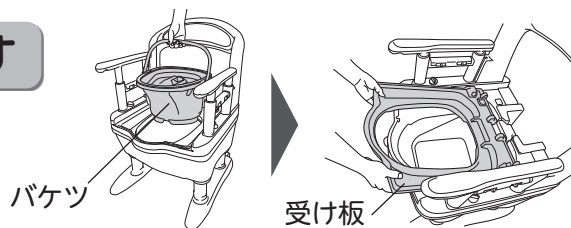


ソフト便座と便座ベース板を取り外す際、無理に引っばらないこと。強く引っばると、ソフト便座が破損します。

3. 受け板、バケツを取り外します

バケツを取り出し、受け板を外します。

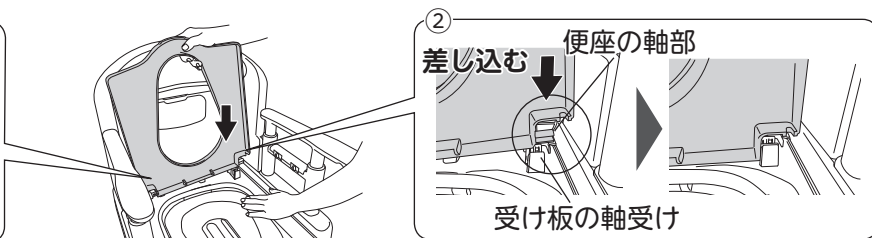
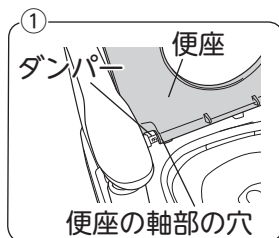
バケツの取り外しかたは…P.15 へ



お手入れが終わったら、受け板、便座、上蓋、バケツの順に設置します。

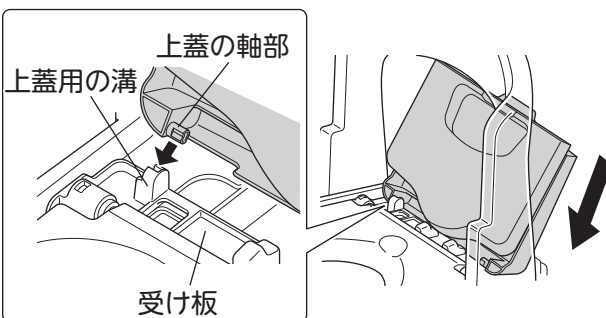
●便座の取り付けかた

- ①ダンパーを便座の軸部の穴に差し込みます。
- ②便座の軸部を受け板の軸受けに上から押し込みます。



●上蓋の取り付けかた

上蓋を二つ折りにして軸部を受け板の上蓋用の溝へ押し込みます。



確認しましょう

安全上の注意

使用前に

使いましょう

お手入れしましょう

困ったときには

点検のしかた

安全に長くお使いいただくために、必ず点検やメンテナンスをおこなってください。

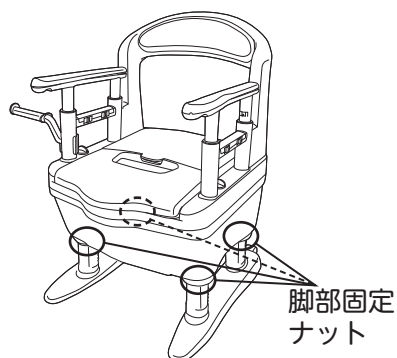
お手入れして取り付けた後や、調節の後、ご使用になる前に、各項目を確認してからご使用ください。

下記の点検をおこなった時に不具合を感じた場合はただちに使用をやめ、お買い上げの販売店や弊社「お客様相談室（フリーダイヤル：0120 - 86 - 7735）」までご相談ください。

ご使用の前にひじ掛けや背もたれを軽くゆすり、各部にガタつきなど、異常がないか点検すること



・脚部固定ナット → ゆるむ×



ナットがゆるんでいる場合は…P.11を参照して、しめ直してください。

・ひじ掛け固定ピン
・背もたれ固定ピン → 外れる×



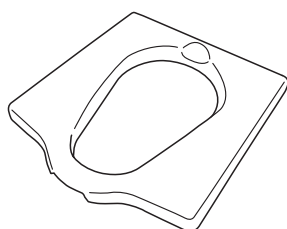
ピンが外れている場合は…P.8を参照して、固定してください。

交換部品

●製品が劣化・破損した場合は、お買い求めになった販売店へお問い合わせの上、部品を購入し、交換してください。

※ソフト便座タイプのみ

ソフト便座



交換方法は…P.19へ

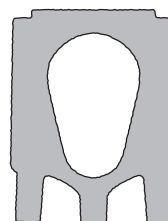


バケツ式



※標準便座タイプのみ

吸着便座シート



交換方法は…P.13へ

確認しましょう

！安全上のご注意

✖ご使用の前に

♡使いましょう

💧お手入れしましょう

？困ったときには

? 困ったときには

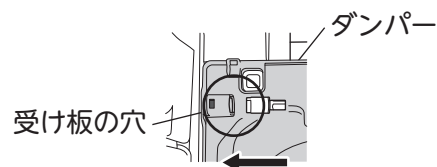
よくあるご質問

Q 便座のダンパーが外れてしまい、戻しかたがわかりません。

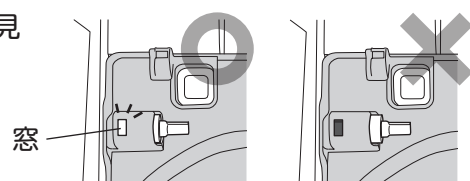


A. 以下の手順で取り付けてください。

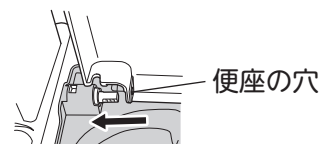
①受け板の穴に、まっすぐ差し込みます。



②穴の窓から、ダンパーの白い部分が見えるまで、しっかり差し込みます。



③ダンパーに便座の穴を合わせて差し込みます。



確認しましょう

安全上の注意

ご使用前に

使いましょう

お手入れしましょう

? 困ったときには

保証とアフターサービス

商品のご購入に関するお問い合わせ、ご相談は…お買い求めの販売店へ
商品の仕様等に関するお問い合わせ、ご相談は…下記お客様相談室へ

不具合が発生したとき

万一故障したり、また異常を感じた場合は、ご自分で修理、改造などを絶対にしないで、お買い上げの販売店にご相談ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従って修理させていただきますので、製品に保証書（取扱説明書）を添えて、お買い上げの販売店にご依頼ください。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

部品供給、また修理対応期間はメーカー製品廃番後3年となります。

ただし、期間内でも破損箇所によっては、部品供給、または修理できないケースがございますのでご了承ください。

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。

技術料 は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業、作業員の出張にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

アロン化成株式会社

フリーダイヤル

お客様相談室



0120-86-7735

(受付時間) 祝祭日以外の

月～金 10:00～16:00

(12:00～13:00 はのぞく)

確認しましょう

！安全上のご注意

✕ご使用前に

❤使いましょう

💧お手入れしましょう

？困ったときには

必ず、お買い上げの販売店からお買い上げ日・販売店名などの記入をお確かめのうえ受け取り、保証書内容をよくお読みの上、大切に保管してください。尚、保証書の再発行はいたしません。

保証書

この製品は、厳密な品質管理及び検査を経てお届けしたものです。お客様が取扱説明書・本体添付シール等の注意書きに従った使用状態で保証期間内に万一故障した場合には、本保証書記載内容により無料修理いたします。有効期間は、お買い上げの日より1年間です。

1. 修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。修理に際しては、本保証書をご提示、もしくは添えてください。
2. 本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
3. 保証期間内でも下記の場合は、有料修理になります。
 - 1) 保証書のご提示がない場合。
 - 2) 本保証書のお買い上げ日、販売店の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - 3) 使用上の誤り、あるいは改造、修理、調整による故障または損傷。
 - 4) お買い上げ後の輸送、移動、落下、その他の不適切な取り扱いによる故障または損傷。
 - 5) 火災、地震、塩害、ガス害、風水害、落雷、その他の天災地変による故障または損傷。
 - 6) 消耗品の損傷及び汚れ。
 - 7) 業務用または一般家庭用以外にご使用の場合の故障または損傷。
4. 本保証書は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
5. 保証書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。したがって、保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

〈個人情報の取扱いについて〉

- 1) 保証書にご記入いただいた住所・氏名などの個人情報は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用いたします。
なお、本書にてお預かりするお客様の個人情報をお客様の同意を得ることなく、第三者に提供または開示いたしません。
- 2) 修理のために、当社から修理委託している保守会社などに必要なお客様の個人情報を委託する場合、守秘義務契約を結び当社と同等の水準でお客様の個人情報を取り扱うように管理いたします。

★お買い上げ日	年 月 日
保証期間	お買い上げ日より1年
お客様	ご住所 〒 番地 丁目
★販売店	住所 〒 店名 TEL

★ 印欄に記入のない場合は有効となりませんので、必ず記入の有無をご確認ください。
もし記入のない場合は直ちにお買い上げの販売店にお申し出ください。

●製品の仕様および価格は、予告なく変更する場合があります

製品に関するご意見
・お問い合わせは

お客様相談室 フリーダイヤル ☎ 0120-86-7735

(受付時間) 祝祭日以外の月～金 10:00～16:00 (12:00～13:00はのぞく)

- ・お客様からいただいたお電話は、内容確認のため、録音させていただいております。
- ・個人情報は適切に管理し、ご相談への回答などの情報提供のみに利用いたします。

製造・発売元

TOAGOSEI グループ



アロン化成株式会社

ライフサポート事業部

〒105-0003 東京都港区西新橋2-8-6 住友不動産日比谷ビル8階

URL <https://www.aronkasei.co.jp/>

安寿

検索